



「学び続ける教員」をサポートする 「教職キャリア高度化センター」を設置

教職キャリア高度化センターは、京都府教育委員会・京都市教育委員会および公立学校と協働して、教員の初任期から教職キャリアを積む過程の全体に渡る支援並びに支援に関する研究開発を計画し、実施します。センターには以下の2つの部門があります。

＜初任期支援部門＞

教職大学院及び教育学研究科、学内の既設センターとの連携により、初任段階等で困難を抱える教員を支援するとともに、初任期の職能の向上を図るプログラムを開発し、実施します。

＜教職キャリア支援部門＞

教職生活全体を通じて学び続ける教員に向けて、修士レベル化に対応できる学修プログラムを開発し、実施します。さらにまた、高度な専門性を養うプログラムを開発し、実施します。

主なプログラム・事業等

＜初任者教員ポートフォリオシステム＞

現職教員が、自らの成長の糧として活用できるよう、各自が作成した教材や授業の方法などを掲載し、教員相互に意見交換が行えるよう、また、大学教員からの指導助言を受けられるシステムを構築します。

＜卒業生・修了生フォローアップシステム＞

教員採用された卒業生・修了生をフォローアップし、必要なサポートを行うとともに、サポートのニーズに関する情報をフィードバックするため、また、卒業生・修了生の進路データを確実かつ迅速に把握・分析することを目的としたシステムを構築します。

＜修士レベル対応学修プログラム＞（平成26年4月以降に受講者等を募集します）

現代的な教育課題等に対処するため、教員の職能向上研修プログラム（学校経営・特別支援教育、教育哲学・教育社会学・教育心理学などの教育の基礎理論等に関する高度なプログラム）を教育委員会と協働で開発し、実施します。